

平成31年麻布大学同窓会島根県支部総会を開催しました！

島根県支部では、総会を毎年2月第3土曜日とし、今年も解剖学第一研究室の市原准教授をお招きして15名の出席を得て開催しました。

島根県支部は、獣医学科以外の麻布公衆衛生短期大学の卒業生も含めて名簿を作成し、この名簿により総会の開催案内を発送しますが参加者は低迷しています。

このような状況を何とか改善しようと、去年の総会で森脇事務局長（平成8年卒）から“総会に合わせて若手会員による情報提供”を行いたいと提案したところ満場一致で承認をいただきました。

今年の総会では、家畜保健衛生所の鈴木郁也会員（平成27年卒）に「高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫体制について」と題して現場の取り組みを話していただくとともに、市原准教授からは最近の麻布大学の状況についてお話をいただきました。少人数の総会でしたが、懇親会の中で有意義であったとのご意見をいただくことができました。

同窓会は、異業種交流の場でもあり、同窓会でなければ会うことの出来ない先輩や他の分野で活躍している会員と情報交換できるまたとない機会と考えます。

来年は、公衆衛生分野からの情報提供を考えており、総会への参加者が増えることを期待しています。

島根県支部長 増田省一（昭和52年卒）



2019/02/16